

第137回エンレイソウの会

場 所： 工学部アカデミックラウンジ3 B3-201(旧応物実験室隣)

日 時： 平成21年 12月 4日(金曜日)

16:00～

講演者： 八木 健彦 氏

(東京大学物性研究所 新物質科学研究部門)

題 目：『**超高压実験技術の進歩と物質科学**』

要 旨： ここ10数年間の超高压実験技術の進歩にはめざましいものがある。今や単に物質が圧縮されてその体積が縮むだけでなく、構成原子の電子構造が変化し物性が大きく変わる、数百万気圧領域での実験もほぼルーチンに行うことが可能になってきた。これらの実験技術を用いて、さまざまな新物質が創り出されたり、新たな現象が見いだされている。また地球や惑星の深部を構成すると考えられている物質の研究でも、全く予想されなかった展開が見られている。本講演では、これら最近の超高压実験技術の進歩を概観すると共に、それらを駆使して得られた物質科学、地球科学の最先端を紹介したい。

主催：北海道大学工学研究科 応用物理学専攻 ソフトマター研究室

共催：トポロジー理工学教育研究センター

世話人：平沖 敏文 (北海道大学工学研究科)

エンレイソウの会連絡先

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究科LB棟1-1-2

トポロジー理工学教育研究センター事務室 鈴木

TEL 011(706)6154(代表)内線6154

Email: suzuki@topology.coe.hokudai.ac.jp